

鬼に金棒！丸暗記術

螢雪ゼミナール瑞穂校 橋本承太郎

【理科・宇宙に引越し】

今日は宇宙に住むことを考えてみましょう。太陽のまわりを公転している**水星**、**金星**、**地球**、**火星**、**木星**、**土星**、**天王星**、**海王星**は、「**すいきんちかもくどってんかい**」と覚えていきますね。テーマは「**ロマン**」です。神様しか知らない話をしますよ。

・**水星**…大気がほとんどありません。そのため、水星では昼夜の温度差が約600℃と非常に大きいです。宇宙服を着ていなければ昼は燃えてしましますし、夜は凍ってしまうので、数分と暮らしていけないでしょう。そして、水星はゆっくりと自転しているため1日が長く、昼と夜の差を経験することもできないでしょう…。

・**金星**…地球のすぐ内側を公転しています。太陽から2番目に近い惑星ですが、最も暑い星です。二酸化炭素の層でおおわれているため、温室効果により温度は460℃ともいわれています。燃えてしまうか、二酸化炭素濃度が濃いため気を失うか、酸性の雨で溶けてしまうでしょう…。

・**地球**…地球上に遠距離恋愛は存在しません。地球がなぜ丸くできているか、それは、運命の2人がある一定の距離以上に離れられないためです。いくつもの山を越え、海を渡り、地球という大きな家で出会い、恋をします。

・**火星**…火星も大気がほとんどないため、水星と同じく厳しい環境です。しかし、火星の赤道付近における夏の気温は20℃くらいなので、人間が快適に住むことができます。そして、土にわずかに水がふくまれています。セラフォーミングの候補ですね！

ここまでが地球型惑星といい、密度が大きいので地面があります。

ここから紹介する木星型惑星というの



担当教科 数学・理科
好きな言葉は「鬼勉」。学生時代、テスト勉強中によく唱えていた言葉です！

「すいきんちかもくどってんかい」

惑星ロマン、ワクワクさせて！

は、密度が小さいため、表面が固体ではなく、歩けません。何をもって星に降り立ったかと言うのでしょうか。太陽からも遠ざかってきましたので、寒くなってきますよ。

・**木星**…ガスを主成分とした惑星です。大気は有毒ですからこちらも息を吸ってはいけません。また、放射線濃度が濃すぎるため木星も人間が住める環境ではありません。質量は地球の318倍で、太陽系の中では最も大きな惑星です。

・**土星**…木星と同様に地面がありません。気温は平均してマイナス130℃とも言われており非常に冷たく厳しい環境ですね。密度が1より小さく、土星をプールに入れたら浮くかも…。しかし、土星のまわりを公転する、衛星「**タイタン**」は海や山があることが分かっているそうです。もしかしたら生命が存在しているかもしれませんね。

・**天王星**…海王星とともに美しい青色をしています。これは星を構成するメタンが赤色の光を吸収し青色の光を強く反射することが原因です。そして、もちろん寒いです。ダイヤモンドの雨が降ると言われていますし、高温の氷があるとも言われています。

・**海王星**…表面温度はマイナス220℃くらいといわれています。時速2000kmの風が吹き荒れているといえます。1月の岐阜とは比べ物にならない寒さでしょう。海王星は約8割が氷でできており、「氷の惑星」とも言われています。

木星型惑星は、水や岩石などでできた環があります。マサイ族くらい視力が良いと、裸眼でこの環を観測できるらしいです。ロマンですね。私が今お話しした内容も宇宙のごく一部ですし、これからくつがえされたり、新たな発見があったりするのが天文学です。ロマンですね。

学びを楽しく。地域版で連載している「岐阜新聞真学塾」をパワーアップさせたコーナーです。